



Aluminum lightens the world  
アルミでかなえる、軽やかな世界



# サステナビリティ説明会

## ～UACJグループが成長し続けるために～

2025年11月26日  
株式会社UACJ



# 本日のプログラム

登壇者	内容	時間
田中 信二 (代表取締役 社長執行役員)	アルミニウムの役割とUACJの貢献	10:03～10:40
成田 緑 (執行役員 サステナビリティ推進本部長)	気候変動対策への責任ある取り組み ～UACJグループの環境ビジョン	
浦吉 幸男 (執行役員 ビジネスサポート本部長)	働く一人ひとりのWell-beingの向上 ～UACJグループの人材戦略	
休憩		10:40～10:50
田中 信二 永田 亮子(独立社外取締役) 赤羽 真紀子(独立社外取締役)	UACJグループの“未来”を語る ～社長と社外取締役の視点から～	10:50～11:30
休憩		11:30～11:35
質疑応答		11:35～12:00



Aluminum lightens the world  
アルミでかなえる、軽やかな世界



# アルミニウムの役割とUACJの貢献

代表取締役 社長執行役員  
田中信二



# UACJグループ理念体系(フィロソフィー)

## UACJグループ理念



### 企業理念(パーパス)

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

### 目指す姿(ビジョン)

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

### 価値観(バリュー)

### 行動指針「UACJウェイ」

#### 相互の理解と尊重

- 地域社会との交流を大切にし貢献する。
- 人の多様性を認め、価値観を尊重する。
- オープンなコミュニケーションを実践し、チームと個人の成長を大切にする。
- 「イキイキとした職場づくり」を推進する。

#### 誠実さと未来志向

- 5ゲン主義に基づき行動する。
- 現実に真摯に向き合い、物事の本質を捉えた「誠実なモノづくり」を通じて、ステークホルダー目線の期待に応える。
- 「未来志向」で時代を先取りし、地球環境を守る活動に積極的に取り組む。

#### 好奇心と挑戦心

- 環境の変化に対して常に「好奇心」と「挑戦心」を持ち、社会が必要とする製品とサービスを提供する。
- 社会の将来に向けたオープンイノベーションに対して、創造力を持って取り組む。

## 行動指針「UACJウェイ」



# 長期経営ビジョン “UACJ VISION 2030”

アルミニウムを究めて、サステナブルな社会の実現に貢献





# UACJグループのサステナビリティ ～軽やかな世界へ導く羅針盤～

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球

Business 事業

事業を通じて  
軽やかな未来を創造するために



環境 Environment

緑豊かな青い地球を  
未来に継承するために



誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being / ウェルビーイング

## 100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。  
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。  
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる  
この特徴は、アルミニウムならではの。  
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を  
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、  
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に  
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い  
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、  
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、  
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。

未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。  
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

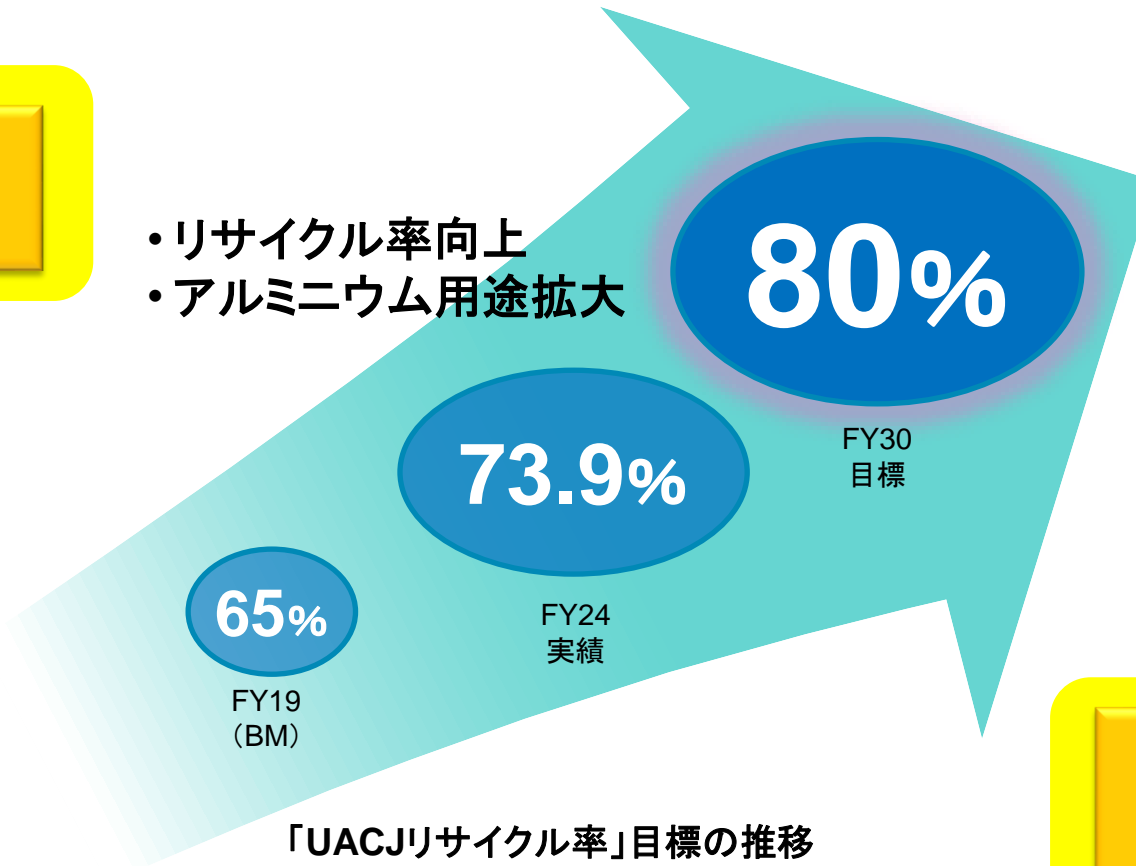
# 低環境負荷製品の開発、リサイクル施策の進展

アルミニウムの可能性を追及し、環境への取り組みを加速

リサイクル設備等  
への投資

- ・リサイクル率向上
- ・アルミニウム用途拡大

環境に配慮できる  
製品群の拡大



※純アルミ(1000系、8000系)材を除く  
※対象拠点: UACJ(名古屋・福井・深谷製造所、小山製作所)、  
UATH(ラヨン製造所)

ブランディング活動の展開

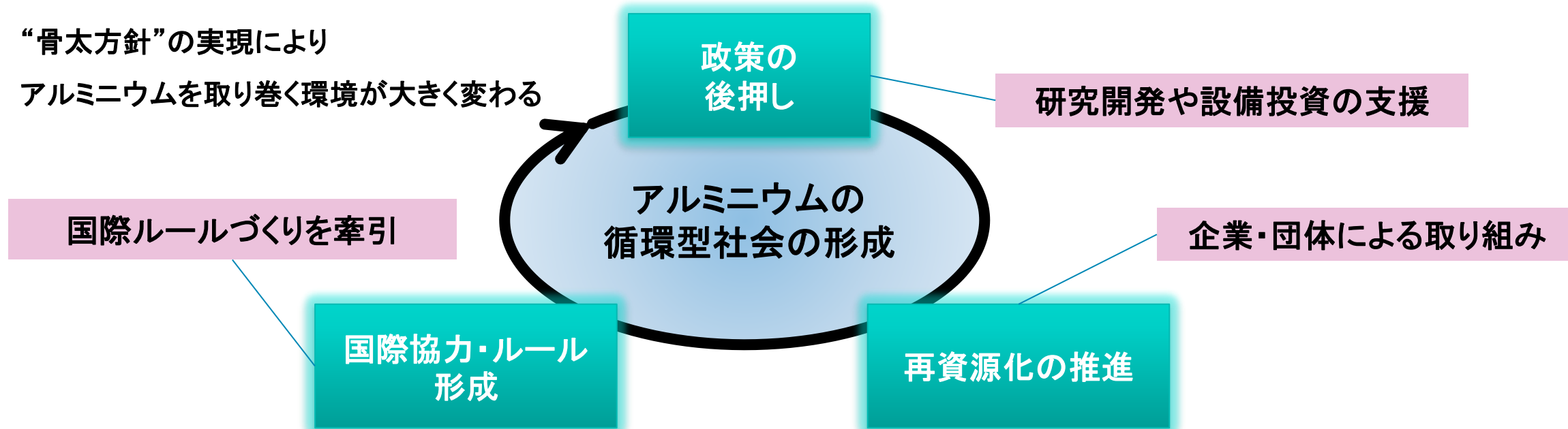
# 「骨太方針」への“アルミ”登場

「GXの推進、サーキュラーエコノミー」の推進にあたり

アルミニウムが社会課題解決の重要な要素として、より強い注目を集める

“骨太方針”の実現により

アルミニウムを取り巻く環境が大きく変わる



(1)GXの推進: サークュラーエコノミー(循環経済)については、再生材利用拡大と製品の効率的利用を促進する  
動静脈連携のための制度や太陽光パネルの廃棄・リサイクル制度の検討、プラスチック・

アルミ等の金属の再資源化を含め、研究開発や設備投資の支援を行うとともに、国際協力やルール形成を推進する。

【経済財政運営と改革の基本方針2025】(令和7年6月13日閣議決定)より抜粋



# アルミニウムへの期待を牽引

サーキュラーエコノミーの輪を太く、大きくするために

リサイクル率向上



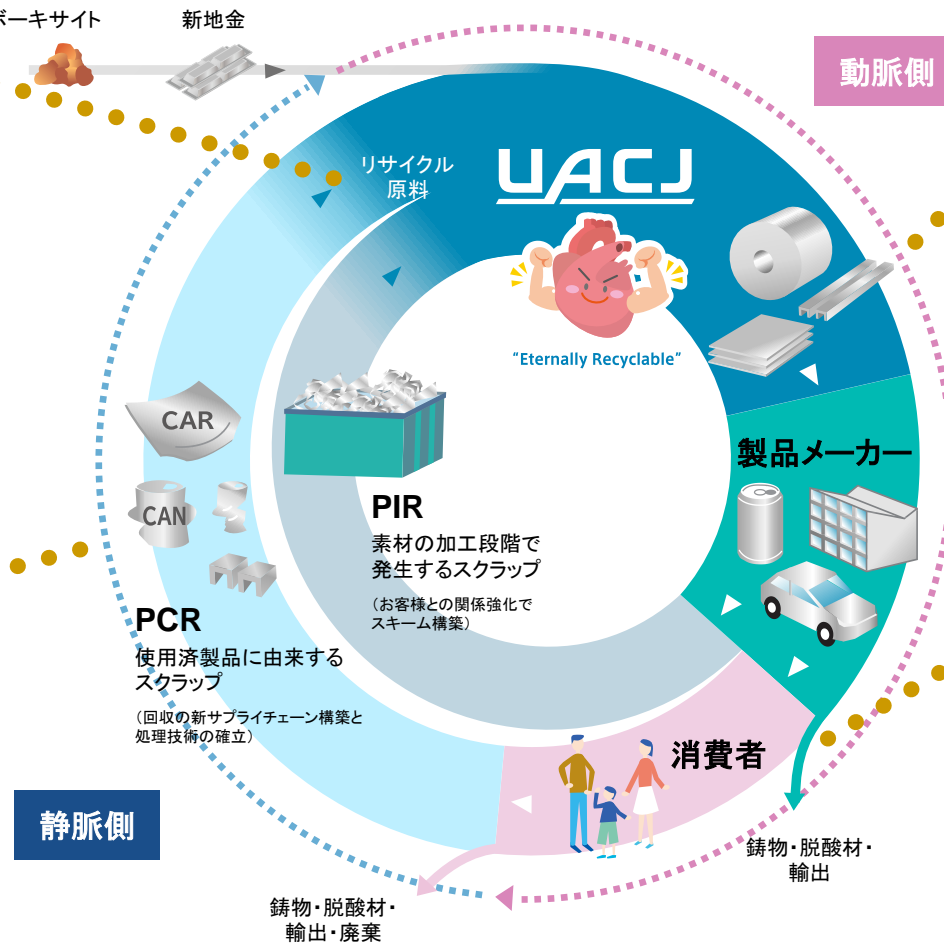
UACJ山一アルミ缶リサイクル(株)(福井製造所内)  
新設UBC加工設備 建屋外観

PCR回収の  
さらなる強化



ボーキサイト

新地金



低環境負荷の  
製品開発



アルミニウムの  
可能性を伝える



# UACJの「人的資本」に対する考え方



## 外部環境の変化

人的資本(Human Capital)の経営上の位置づけが変化

- ✓ 中長期の企業価値向上を目指す上で、  
「人材」=「重要な資本」とする認識の広がり
- ✓ 「エンゲージメント」の経営における重要性の高まり



## UACJの環境変化

「人」にまつわる戦略的位置づけを再整理

- ✓ 「人」にかかわる概念の整理
- ✓ 「人」にかかわる既存の考え方の整理



人を育み、  
人を繋いで、  
軽やかな未来を創る

UACJグループ全体での  
「人」への取り組み強化へ

# ピープルステートメントと人的資本経営の全体像

## 人を育み、人を繋いで、 軽やかな未来を創る

UACJグループの人的資本についての考え方

UACJグループの未来を創る源泉。

それは、UACJグループ理念に共鳴して働く  
わたしたち一人ひとりにほかなりません。

UACJグループの持続的な成長と、  
軽やかな世界の実現のために、  
まず、働くわたしたちの「Well」を高めること。  
その「Well」を、繋ぎ、広げること。  
誰もがイキイキと輝き、  
成長を共に喜びあえる最高のチームとなること。

そんな、UACJグループの「人づくり」「組織づくり」と  
それを支える「働く環境づくり」を  
進めていきます。

共に育みあい、繋がりながら、  
軽やかな未来を、みんなで一体となって  
実現していきましょう。

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する

働く一人ひとりの  
Well-being 向上

人を育み、人を繋いで、軽やかな未来を創る

人材力・組織力の向上

### わたしたちの働くWell

多様な仲間と出会い、繋がり、成長を喜びあい  
チーム一丸となって目標を達成する感動

### わたしの働くWell

個人としての成長・成果を認められる喜びと  
仕事を通じて社会に貢献しているという誇り

### わたしの心と体のWell

安全・安心で健康的な毎日を過ごせる  
幸せと、仕事とプライベートの調和による  
毎日の充実感

### 組織づくり

多様な一人ひとりの活躍の掛け合わせによる  
グループの持続的な成長を支える組織づくり

### 人づくり

持続的な成長を支える多様な人材の獲得・育成と  
一人ひとりの活躍をひきだす人材マネジメント

### 働く環境づくり

安全・安心で健康的な働きやすい  
職場環境づくり



UACJグループの成長を支える、働く一人ひとりのWellと人材・組織づくりの好循環

環境への取組み

人的資本経営への取組み

事業活動を通じた  
社会的な価値・環境的な価値・経済的な価値の創出





# 社会的な価値、環境的な価値の創出と、UACJの持続的な企業価値の向上

## UACJの アプローチ

### 外部環境の変化

気候変動問題の深刻化  
プラスチック汚染の拡大  
世界的な水不足の深刻化

人口動態の変化  
AI等、デジタル技術の急発展  
ウェルビーイング重視の価値観の浸透  
エシカル消費への変容

## 100年後の軽やかな 世界の実現へ

社会課題の  
深刻化

事業の  
持続的な成長

社会環境の  
急激な変化

社会的な  
価値の創出

- ・低環境負荷製品の研究開発
- ・環境等に配慮して生産された原材料の調達
- ・生産プロセスの低環境負荷化
- ・輸送効率の改善
- ・使用済み製品の回収・リサイクルシステムの構築
- ・会社を支える人材の長期目線での育成
- ・“UACJで働いてよかった”-従業員満足度の向上



Aluminum lightens the world  
アルミでかなえる、軽やかな世界



# 気候変動対策への責任ある取り組み ～UACJグループの環境ビジョン

執行役員 サステナビリティ推進本部長  
成田 緑



# 環境に関するマテリアリティと目標



**「アルミニウムの循環型社会」の牽引**(サーキュラーエコノミー)  
アルミニウムを社会に送り出す「動脈」とリサイクルして社会に戻す「静脈」の役割を果たす



**気候変動への対応**  
アルミニウムの利活用を拡大することで、社会全体内におけるGHG排出量の削減に貢献する



**自然の保全と再生・創出**(ネイチャーポジティブ)  
サプライチェーン全体で自然への負荷を最小化し、自然の保全・再生・創出と経済の両立の貢献する

マテリアリティ	対応課題	評価指標	2030年度目標	2050年度目標
「アルミニウムの循環型社会」の牽引	アルミ合金のリサイクル率最大化	UACJリサイクル率 <sup>*1</sup>	80%	100%
気候変動への対応	カーボンニュートラルへの挑戦 (Scope1, 2)	Scope1, 2排出量の削減率 <sup>*2</sup> (2019年度比・原単位)	30%	カーボンニュートラル実現
	サプライチェーン全体でのGHG排出量最小化 (Scope3)	Scope3 (Category1) 排出量の削減率 (2019年度比・原単位)	30%	サプライチェーン全体でのGHG排出量最小化
自然の保全と再生・創出 (ネイチャーポジティブ)	水の有効活用による取水の最小化	取水量の削減率 <sup>*3</sup> (2020年度比・原単位)	25%以上	-

<sup>\*1</sup> 循環アルミ量/溶解炉への挿入量(純アルミ材を除く)  
<sup>\*2</sup> 第6次エネルギー基本計画に基づき算出  
<sup>\*3</sup> 種類は下水再生水含む、工業用水、水道水、井戸水、地表水を対象

## 低環境負荷対応の推進

- UACJリサイクル率73.9%への到達(2024年度実績)
- リサイクル原料の調達量拡大、使いこなしのための設備能力拡大
- グリーン新地金<sup>\*1</sup>100%のアルミ汎用薄板を発売
- 空調機用熱交換器のアルミフィン水平リサイクル技術を実証
- 「縦型高速双ロール鋳造実験機」の完成、大量のリサイクル材の活用のため実験を推進



## ASI認証の更新

取得拠点:

福井製造所、名古屋製造所<sup>\*2</sup>、UATHラヨン製造所(タイ)、  
TAAおよびLogan Aluminum Inc.(米国)、  
UWHサンミゲルデアジェンデ製造所(メキシコ)、DUB(中国)

認証有効期間:

~2026年1月 PS<sup>\*3</sup> (福井製造所:更新監査受査済み)

~2028年3月 CoC<sup>\*4</sup>

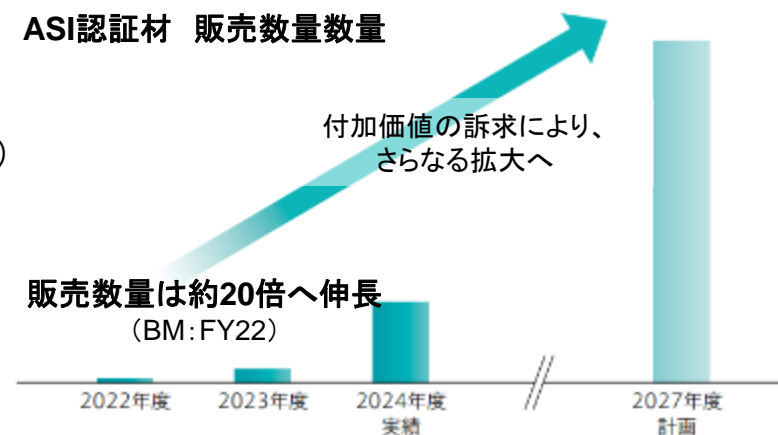
<sup>\*1</sup> グリーン新地金: 非化石エネルギーを発電源とした製錬により生産されるアルミ新地金

<sup>\*2</sup> 取得に向けて活動中

<sup>\*3</sup> PS 企業統治・環境・社会的責任について持続可能性や透明性を高めるための基準

<sup>\*4</sup> CoC 加工・流通過程までの持続的な開発のための基準

ASI認証材 販売数量数量





# カーボンニュートラル挑戦宣言と進捗



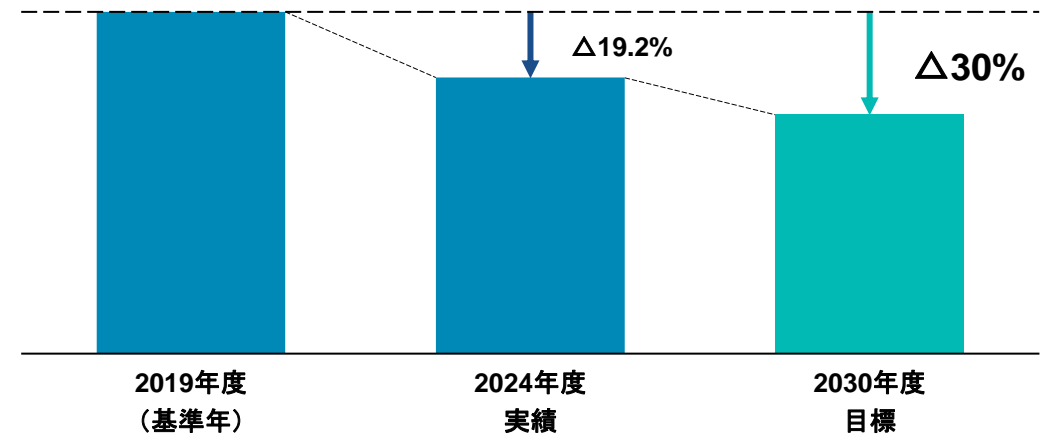
各取り組みはここまで順調に進捗。2030年度目標に向けて一段強い施策を推進  
⇒リサイクル原料等の活用が進み、2024年度目標を達成

## 【Scope1, 2】 (2022年11月公表)

2030年度は30%削減を目指す

2050年はカーボンニュートラルへ挑戦

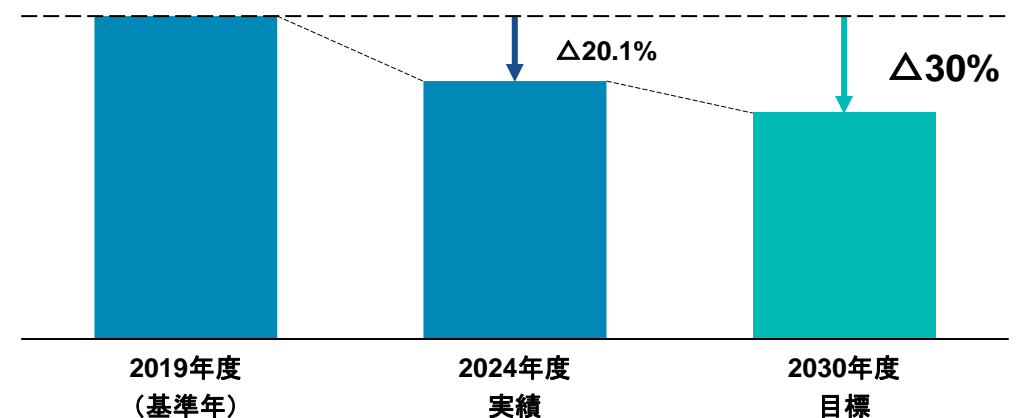
Scope1,2のCO<sub>2</sub>排出原単位削減率の推移



## 【Scope3】(2022年11月公表、2023年12月修正)

- ✓ **2030年度**はリサイクルなどの拡大により**30%削減**を目指す
- ✓ **2050年**はサプライチェーンの様々なパートナーとの協業に取り組み、リサイクル最大化、かつサプライチェーン全体でのCO<sub>2</sub>等のGHG排出削減活動を行い、**GHG排出最小化**を目指す

Scope3のGHG排出原単位削減率の推移





国内の化石燃料に含まれる  
CO<sub>2</sub>排出量に課金

化石燃料  
賦課金  
(炭素税)

<UACJグループへの影響>

エネルギーコストの上昇、  
賦課金の有無による競争力変化  
等

EU域内に輸入される製品に  
炭素コストが課される

CBAM

<UACJグループへの影響>

サプライチェーンを通じた排出量の算定、  
報告体制の整備や低炭素製品への  
転換が急務

国内の排出量取引制度

GX-ETS

<UACJグループへの影響>

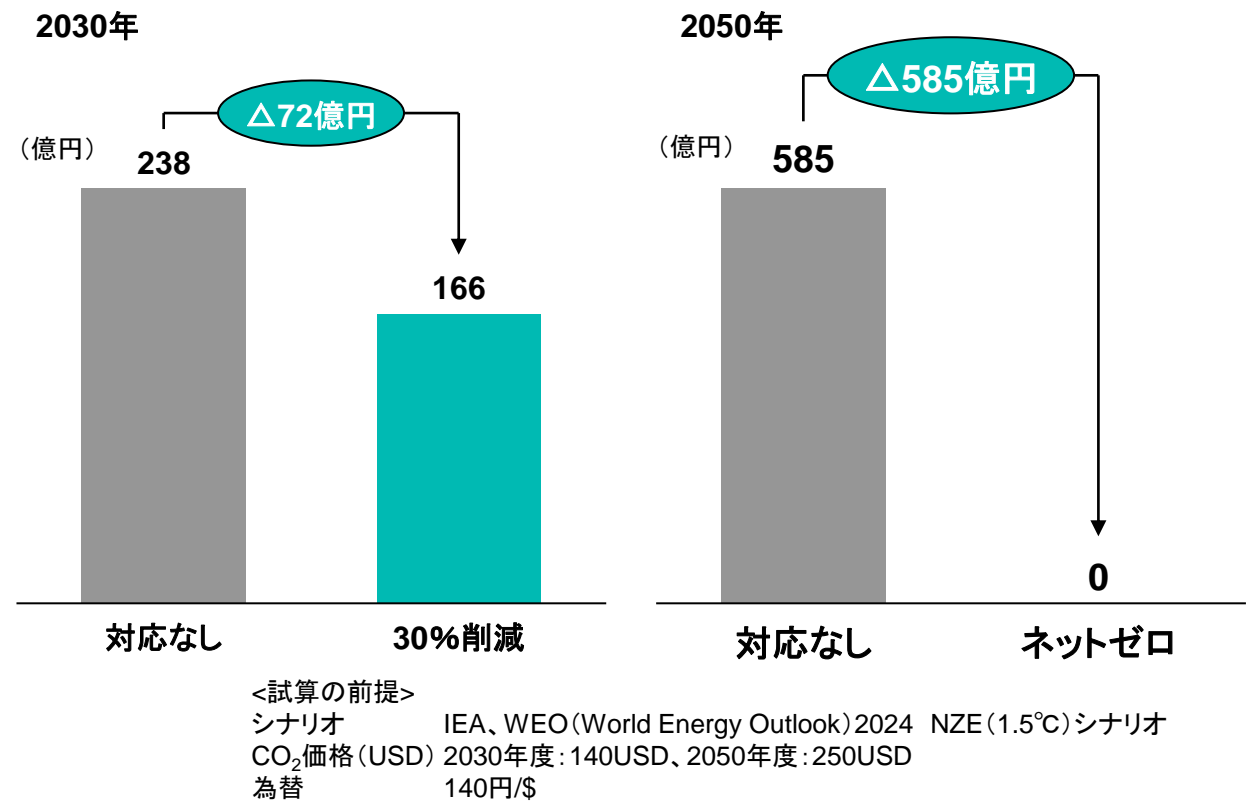
排出枠の管理義務、  
排出枠の戦略的活用

# 化石燃料賦課金（炭素税）の導入によるリスクと機会の評価と取り組み



省エネのための既存設備の更新や新規導入、再生可能エネルギーの活用を進め  
サプライチェーンを通じた環境負荷の低減へ貢献していく

炭素税の財務影響額試算（収益）



炭素価格（炭素税・国境炭素調整）によるリスク/機会の評価と対応策

	事業インパクト	対応策
リスク	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 輸入原料・資材の調達コスト増加</li><li>✓ 電力コスト増</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 長期的なCO<sub>2</sub>排出量削減目標の設定</li><li>➢ 長期的なエネルギー使用量削減目標の設定</li><li>➢ インターナルカーボンプライシングの導入</li></ul>
機会	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ GHG排出量抑制が不十分な国・地域による製品の競争力低下に伴う当社製品販売機会と収益の増加</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 長期的なCO<sub>2</sub>排出量削減施策の実施</li><li>➢ 森林等のCO<sub>2</sub>の吸収とクレジット制度の活用</li><li>➢ 削減貢献量の評価方法構築</li><li>➢ 脱炭素に向けた、官民連携・国際協力による省エネ技術の移転</li></ul>

※その他、TCFD提言に基づく情報開示は、UACJ Report2025 p65-66をご参照ください

# CBAM開始を見据えて



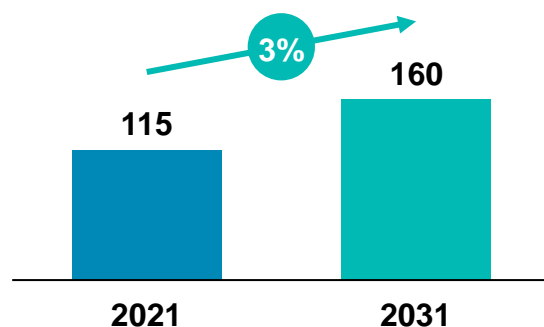
EU域への製品出荷の拡大に向け、CBAM対応は必須事項  
環境負荷を抑えた製品づくりを通じ、国際競争力を高めていく

## CBAM

EU域外で生産された製品に対して、EU域内の炭素価格との差額分の支払いを求めるもの  
段階的に導入が進み、2026年1月より本格適応開始予定  
※排出量の算定方法、申告方法、納税時期や負担割合等、詳細が今後公表予定



欧州域の缶材需要予測(万トン)



出典: 当社調べ

CBAM導入で、

- ✓ EU域内への輸出業者 と
- ✓ EU域内の事業者 の事業環境が平準化され、より公平な競争環境が構築

⇒欧州缶材需要に、公平な環境での競争へ



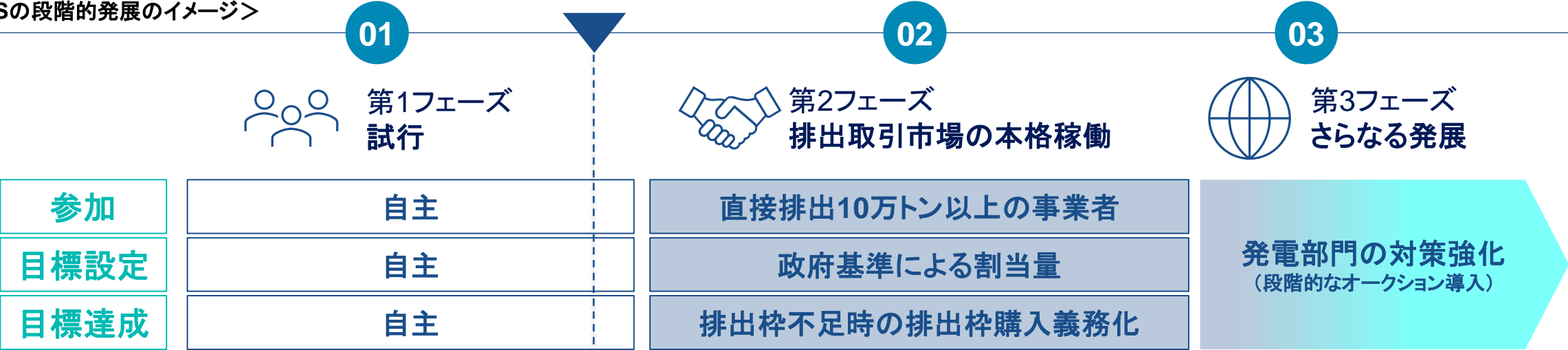
# 日本国排出量取引制度(GX-ETS)への取り組み ①



2023年度より、「GXリーグ」において、自主的な排出量取引制度が試行。  
GXリーグにおける試行的取り組みの成果を踏まえ、2026年度より排出量取引が義務化へ

対象企業	Scope1で年間排出量が10万t以上である企業
排出枠価格	排出枠取引市場・取引価格がベース ⇒毎年 of 上下限価格が設定され、上下限価格は毎年引き上げ予定
制度開始時期	2026年4月スタート

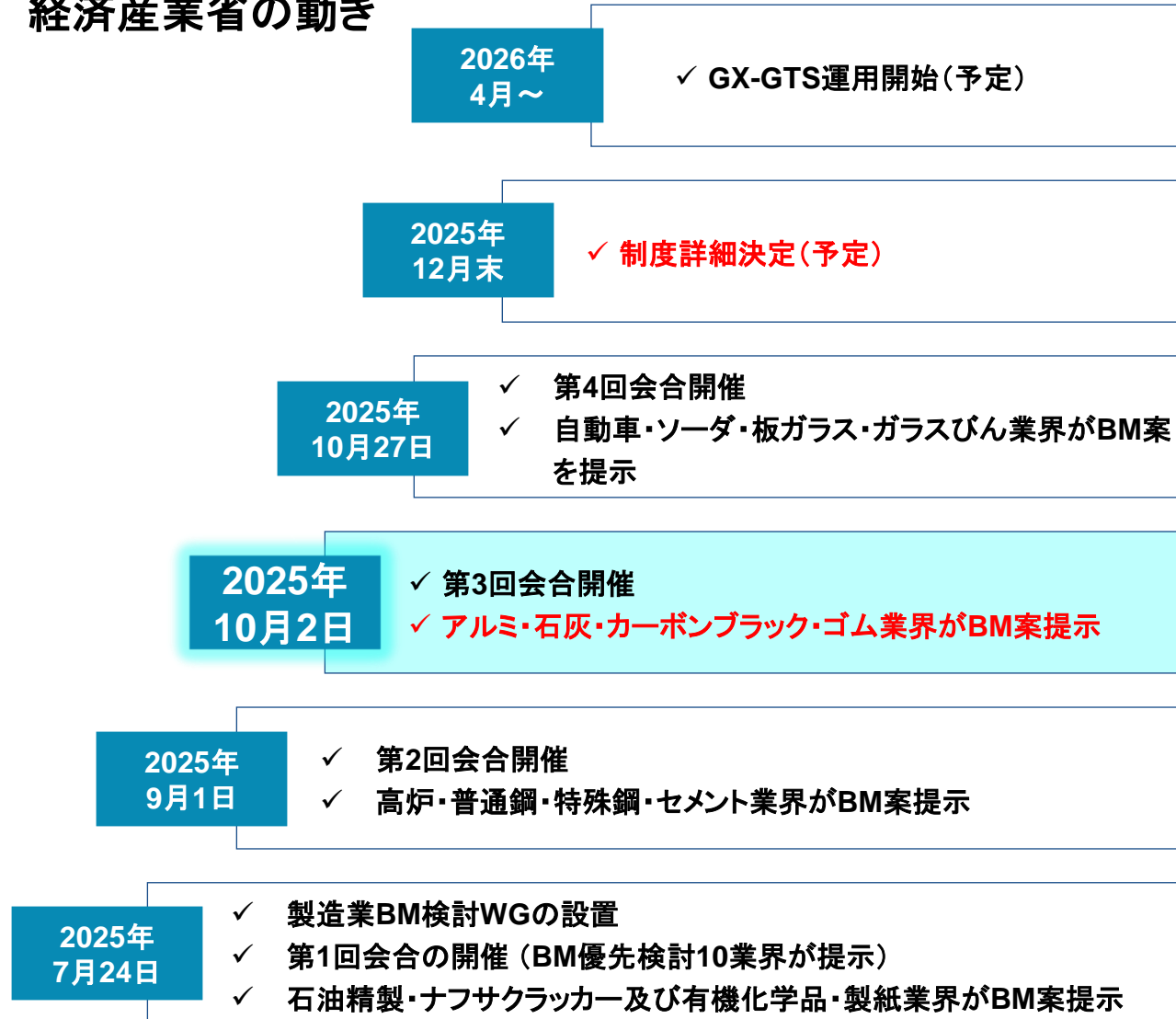
<GX-ETSの段階的発展のイメージ>



# 日本国排出量取引制度(GX-ETS)への取り組み ②



## 経済産業省の動き



## アルミ業界の動き

### BM案補正内容

アルミニウム製品の製造工程を「上工程(溶解工程)」と「下工程(製品工程)」に区分し、上工程にて補正を実施したい

⇒企業間のばらつきを低減し、省エネに対する努力が等しく評価される制度を目指す

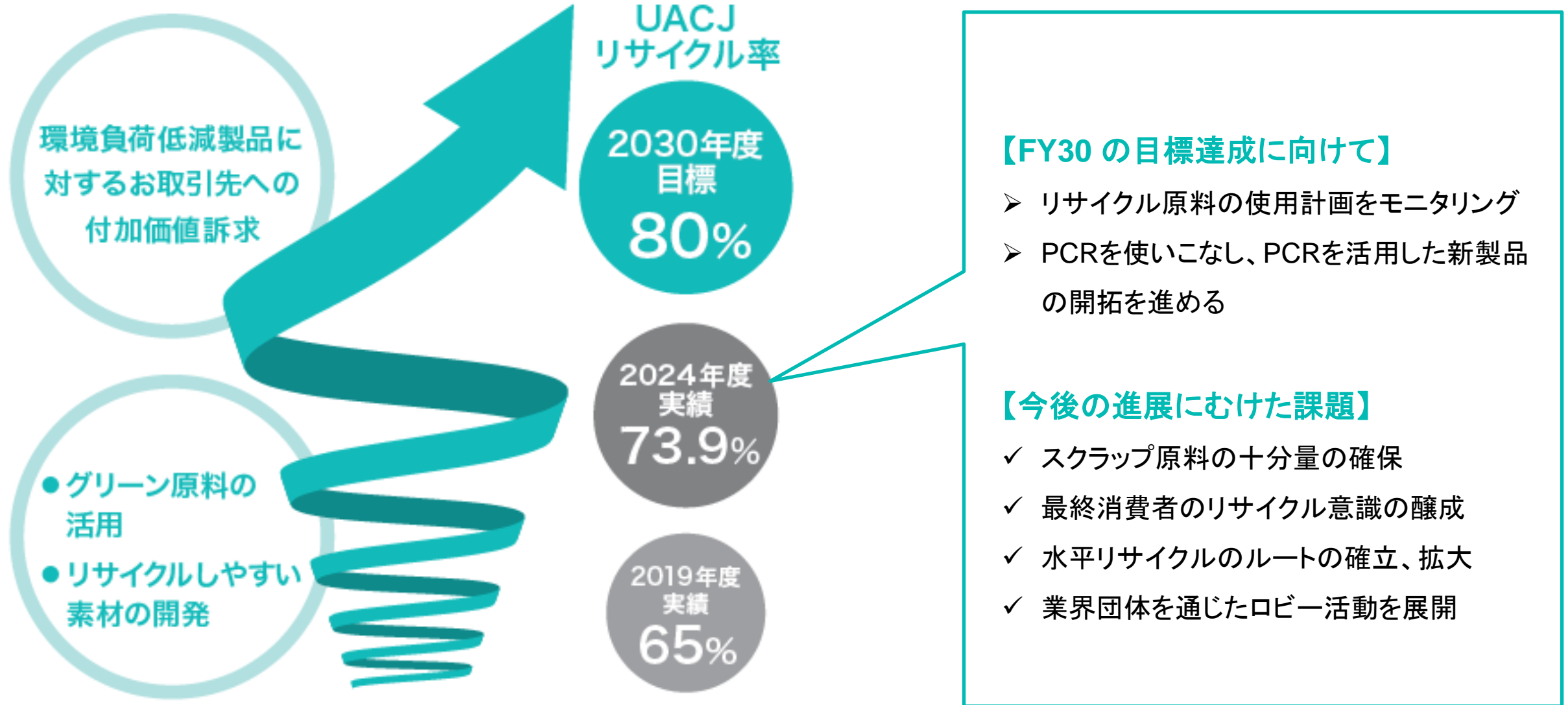
### ➤ BM案追加提示

(優先検討10業界以外で経済産業省へ了承を取り、追加案を提示したのは5業界のみで、その内の一つがアルミ業界)

### ➤ 素材間競争の不利を是正

BM案提示に向けて調整

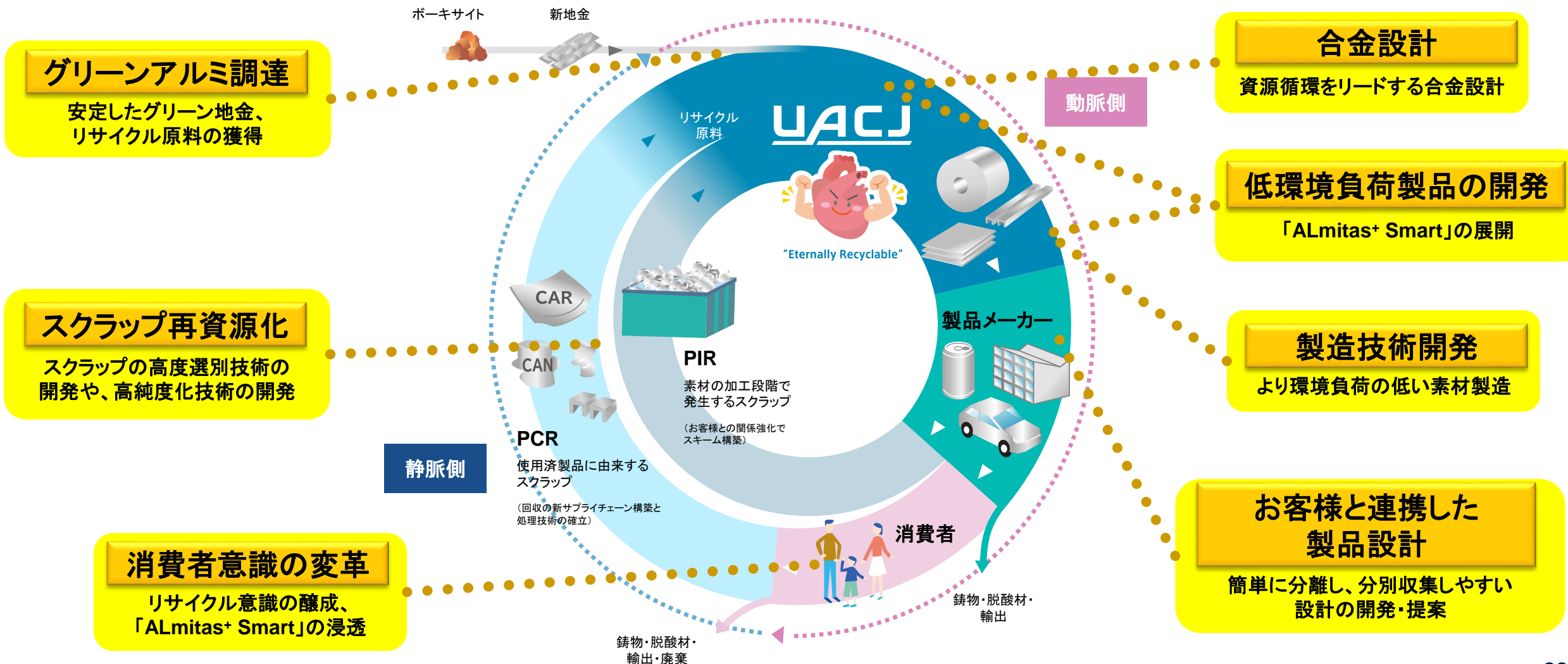
### ➤ アルミ業界BM案は、“軽圧”業界にて作成



# アルミニウム資源循環のありたい姿



資源調達の強靱化、環境負荷低減、競争力向上を目指す





# 美しく豊かな地球がずっと続く未来へ



## UACJグループの考える環境コンセプト

### 緑豊かな青い地球に感謝し、アルミニウムをさらに究めて、持続可能な社会形成に貢献して参ります

アルミニウムは毎日の生活になくてはならない身近なライフラインを支える素材であるとともに、モビリティ、宇宙産業、ヘルスケア、IT など幅広い分野で活躍する素材。アルミニウムを使うことで、資源エネルギーの節減や環境負荷を減らせるなど、さまざまな可能性を秘めています。

そんなアルミニウムの生産に、多くの地球の資源を利用してきたUACJだからこそ、環境への取り組みには従来から真摯に向き合ってきました。環境関連の法令や基準を遵守するのはもちろんのこと、取水量の削減や利活用など、「水」「土壌」「大気」「資源エネルギー」といったあらゆる観点から私たちの“当たり前”として取り組んできました。

そして今、私たちは、社会や地球といった私たちを取り囲むすべてに視野を広げています。たとえば、資源循環の心臓の役割を果たすこと。バリューチェーン全体で温暖化ガス排出量を最小化し、カーボンニュートラルを実現すること。さらに、水資源など自然を保護することに留まらず、再生・創出につながるポジティブな活動を展開すること。

私たちUACJグループは、アルミニウムの可能性をさらに追及して、環境への取り組みを続けていきたいと思えます。未来の子どもたちに軽やかで豊かな社会を渡すために。



Aluminum lightens the world  
アルミでかなえる、軽やかな世界



# 働く一人ひとりのWell-beingの向上 ～UACJグループの人材戦略

執行役員 ビジネスサポート本部長  
浦吉幸男



# UACJグループの“Well-being”

「働く一人ひとりのWellの向上」と「人材・組織づくりの推進」の好循環を図り、  
企業理念・企業価値の実現を目指す

UACJグループで働く一人ひとりのWell-being 3つの軸



安全・安心で健康的な毎日を  
過ごせる幸せと、  
仕事とプライベートの  
調和による毎日の充実感

個人としての成長・成果を  
認められる喜びと、  
仕事を通じて  
社会に貢献しているという誇り

多様な仲間と出会い、  
繋がり、成長を喜びあい、  
チーム一丸となって  
目標を達成する感動



# ピープルステートメントと人的資本経営の全体像

## 人を育み、人を繋いで、 軽やかな未来を創る

UACJグループの人的資本についての考え方

UACJグループの未来を創る源泉。

それは、UACJグループ理念に共鳴して働く  
わたしたち一人ひとりにほかなりません。

UACJグループの持続的な成長と、  
軽やかな世界の実現のために、  
まず、働くわたしたちの「Well」を高めること。  
その「Well」を、繋ぎ、広げること。  
誰もがイキイキと輝き、  
成長を共に喜びあえる最高のチームとなること。

そんな、UACJグループの「人づくり」「組織づくり」と  
それを支える「働く環境づくり」を  
進めていきます。

共に育みあい、繋がりながら、  
軽やかな未来を、みんなで一体となって  
実現していきましょう。

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する

働く一人ひとりの  
Well-being 向上

人を育み、人を繋いで、軽やかな未来を創る

人材力・組織力の向上

### わたしたちの働くWell

多様な仲間と出会い、繋がり、成長を喜びあい  
チーム一丸となって目標を達成する感動

### わたしの働くWell

個人としての成長・成果を認められる喜びと  
仕事を通じて社会に貢献しているという誇り

### わたしの心と体のWell

安全・安心で健康的な毎日を過ごせる  
幸せと、仕事とプライベートの調和による  
毎日の充実感

### 組織づくり

多様な一人ひとりの活躍の掛け合わせによる  
グループの持続的な成長を支える組織づくり

### 人づくり

持続的な成長を支える多様な人材の獲得・育成と  
一人ひとりの活躍をひきだす人材マネジメント

### 働く環境づくり

安全・安心で健康的な働きやすい  
職場環境づくり



UACJグループの成長を支える、働く一人ひとりのWellと人材・組織づくりの好循環



# 人的資本経営とサステナビリティ羅針盤の関係

## UACJグループの人的資本経営の全体像

UACJグループで働く  
一人ひとりのWell-being向上  
を目指した取り組み

経営戦略と連動した  
人材戦略

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する

働く一人ひとりの  
Well-being 向上

人を育み、人を繋いで、豊かな未来を創る

人材力・組織力の向上

**わたしたちの働くWell**

多様な仲間と出会い、繋がり、成長を喜び、  
チーム一丸となって目標を達成する感動

**わたしの働くWell**

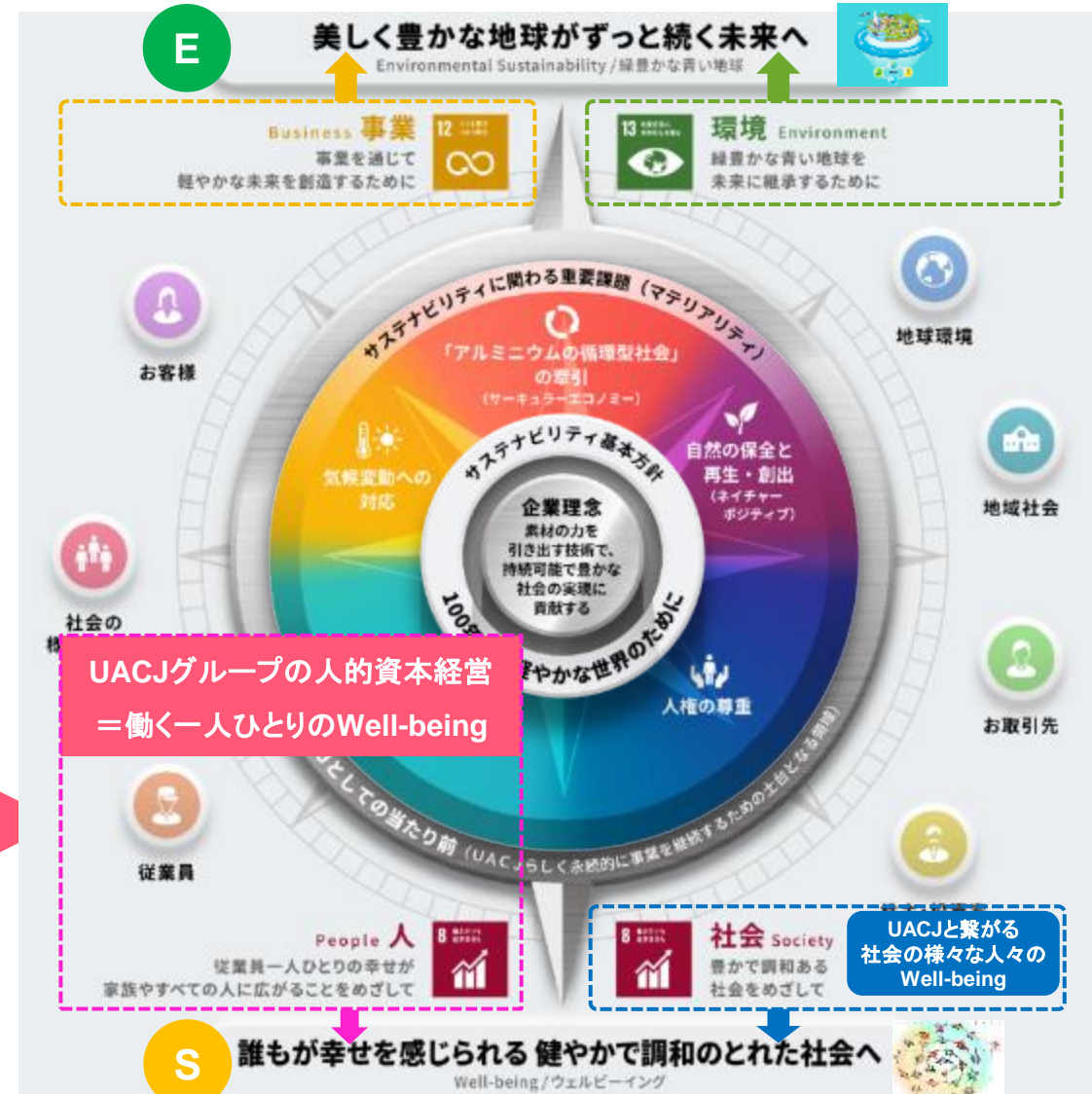
個人としての成長・成果を認められる喜びと  
仕事を通じて社会に貢献しているという誇り

**わたしの心と体のWell**

安全・安心で健康的な毎日を送る幸せと  
仕事とプライベートの調和による毎日の充実感

働く方の視点

UACJグループの成長を支える、働く一人ひとりのWell-beingと人材・組織づくりの好循環





# 経営戦略と人材戦略の連携

## 「UACJ VISION 2030」の実現に向け、人材ポートフォリオを可視化 各組織の施策に応じた、最適な人材配置の検討へ

＜第4次中期経営計画＞ 素材提供企業から「素材＋α」の付加価値提供企業へ

人材に関するテーマ 多様な人材の獲得・育成とエンゲージメント向上

経営戦略



経営戦略と人材戦略の連携

人材戦略



組織づくり

多様な一人ひとりの活躍の掛け合わせによる、グループの持続的な成長を支える組織づくり

基本テーマ

リーダー育成・拡充  
エンゲージメント向上  
DE&I(デ・ア・イ)推進



人づくり

持続的な成長を支える多様な人材の獲得・育成と、一人ひとりの活躍をひきだす人材マネジメント

基本テーマ

人材獲得・リテンション  
人材育成  
評価／配置



働く環境づくり

安全・安心で健康的な働きやすい職場環境づくり

基本テーマ

報酬／福利厚生制度整備  
健康経営推進  
職場環境整備

# 人材戦略の進展で目指す先

テーマに基づいた施策の実行で、UACJグループの持続的な発展に人材面から寄与

基本テーマ	主要施策		
組織づくり	<b>リーダー育成・拡充</b> 組織の持続的な成長を支える リーダーの計画的な育成・拡充	<b>エンゲージメント向上</b> 優れたチームワークのもと、 やりがいを感じて働ける組織づくり	<b>DE&amp;I(デ・ア・イ)推進</b> 一人ひとりの多様性や価値観を尊 重できる組織づくり
人づくり	<b>人材獲得・リテンション</b> UACJウェイの価値観に基づく 行動ができる人材の獲得・維持	<b>人材育成</b> 変化する事業環境に応じ、 主体的に意思決定、問題解決でき る人材を育成	<b>評価・配置</b> 成果を適切に評価し 意欲・能力を最大限に活かした配置
働く環境づくり	<b>報酬・福利厚生制度</b> 競争力のある報酬制度と 福利厚生制度を整備	<b>健康経営推進</b> 心身ともに健康で、活力ある 毎日を過ごす環境を整備	<b>職場環境の整備</b> 安全・安心をベースに、 快適で効率よく働ける環境を整備

# Well-being/人材戦略にかかる主なKPI

人材戦略の目標達成を通じて、「働く一人ひとりのWellの向上」と「人材・組織づくりの推進」の好循環の実現へ

基本 テーマ	人事施策	課題	評価指標	2027年度 目標	2024年度の取組み状況
組織づくり	エンゲージメント向上	組織の活性化	エンゲージメント調査における 働きがい・やりがい度	3.40点/5.00点	3.30点。国内グループ会社を対象にエンゲージメント調査を実施。各部門でエンゲージメント向上活動を展開
人づくり	人材育成	新たなビジネスと創出 する人材の育成	新事業育成に携わった人数 (2021年度～)	累計20人超	累計17人。新事業の企画・育成・実行のための専任組織を設置。社内ベンチャー制度で従業員の挑戦を積極的に支援
		グループ・グローバル 視点を持つ人材の育成	事業本部、グループ会社間の 管理職層の異動者数	累計20人超	累計8人。グループ公募制度やローテーション等により、事業本部やグループ会社間の異動を促進
働く環境づくり	報酬・福利厚生制度 整備	人を惹きつける魅力 ある人事制度の再構築	エンゲージメント調査における 制度、評価、処遇の魅力度	3.00点/5.00点	2.93点。過去最高の賃金改善を実施。統合後10年経過する中で、新人事制度への見直しを検討

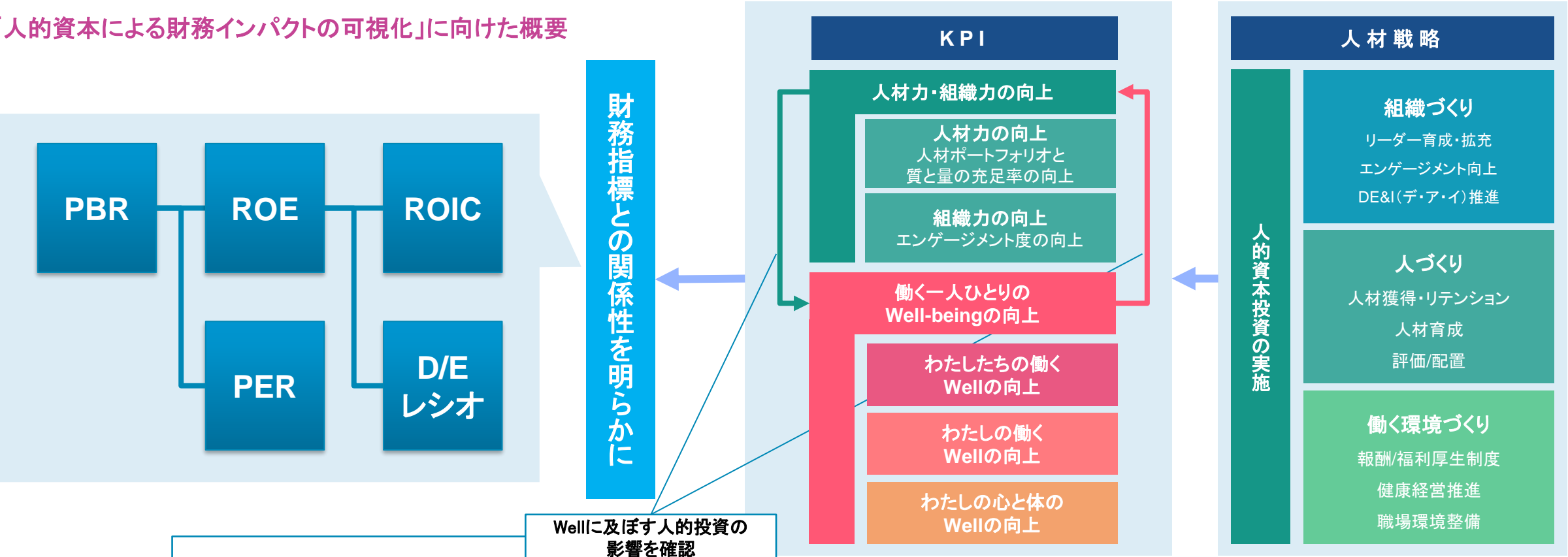
その他の人材戦略にかかるKPIは、以下のURLをご参照ください  
[uacj.co.jp/sustainability/social/pdf/human-capital\\_kpi.pdf](https://uacj.co.jp/sustainability/social/pdf/human-capital_kpi.pdf)

# 人的資本による企業価値向上の可視化

\*相関性：統計的優位さをもって相関性を確認

## 一部の人事施策と「わたしの心と体のWell」に相関性\*があることを確認

「人的資本による財務インパクトの可視化」に向けた概要



分析・取り組みの概要	京都大学 砂川伸幸教授・山田和郎准教授等とともに、Well-beingと人事施策の関係性について調査研究を実施
現在の分析テーマ	人材戦略(人事施策)とWell-beingの相関関係 (分析対象: 人事施策 DE&I、人材育成、報酬・福利厚生制度等 Well-being 3つのWell (わたしたちの働くWell、わたしの働くWell、わたしの心と体のWell))
今後の展開	他のWell(わたしたちの働くWell、わたしの働くWell)にも分析を拡大し、人材戦略の重点分野を検討 さらに、人事施策が財務インパクトにどうつながるかについての分析を継続

# 誰もが幸せを感じられる 健やかで調和の取れた社会へ

あなたを Well に。みんなを Well に。

## UACJ Well WAVE



あなたを Well に。みんなを Well に。

## UACJ Well WAVE

UACJ が考える Well-being。

それは、一人ひとりが健康で心が充実し  
幸せを感じられるような良い状態 “Well” が、  
家族や周りの人々、地域や社会の Well につながり、  
その Well がまた一人ひとりに返ってくる「Well の WAVE (波)」だと考えます。

あなたの Well は何ですか。

生きがいや働きがいを感じるのはどんな時でしょう。

家族や友人、同僚の Well を知ってますか。

会社や地域、社会にとっての Well って何でしょう。

一人ひとりが自分らしく輝くことができるように

UACJ はみんなの未来を Well にしていきたいと考えます。

まずはあなたが Well であるように。

そして、いろいろな Well が波のように広がり、重なりあっていけるように。

あなたを Well に。みんなを Well に。





Aluminum lightens the world  
アルミでかなえる、軽やかな世界



# 取締役座談会 UACJグループの“未来”を語る ～社長と社外取締役の視点から～



# 登壇者プロフィール



独立社外取締役  
**永田 亮子**

指名・報酬諮問委員会  
委員長

1987年 4月	日本たばこ産業株式会社 入社
2008年 6月	同社 執行役員飲料事業部長
2013年 6月	同社 執行役員CSR担当
2018年 1月	同社 執行役員社長付
2018年 3月	同社 常勤監査役
2021年 6月	本田技研工業株式会社 社外取締役 監査委員(現任)
2023年 3月	株式会社メドレー 社外監査役(現任)
2023年 6月	株式会社UACJ 社外取締役(現任)

# 登壇者プロフィール



独立社外取締役  
**赤羽 真紀子**

指名・報酬諮問委員会  
委員

- |          |   |
|----------|---|
| 1993年 4月 | 株式会社三菱銀行(現株式会社三菱UFJ銀行) 入行                     |
| 2001年 1月 | スターバックスコーヒージャパン株式会社<br>広報室 環境・社会貢献事業チームマネージャー |
| 2003年 8月 | 株式会社セールスフォース・ドットコム(現株式会社セールスフォース・ジャパン) 社会貢献部長 |
| 2006年11月 | 日興アセットマネジメント株式会社 CSR室長                        |
| 2010年 4月 | CSRアジア株式会社 代表取締役(現任)                          |
| 2022年 6月 | 株式会社バイオラックス 社外取締役(現任)                         |
| 2023年 6月 | 株式会社UACJ 社外取締役(現任)                            |

# UACJグループの“未来”を語る ～社長と社外取締役の視点から～

- 経済的な価値と社会的な価値の追求  
～UACJ VISION 2030達成への思い
- UACJの情報開示  
～“UACJらしさ”と説明責任
- 透明性ある経営のために



*Aluminum lightens the world*  
アルミでかなえる、軽やかな世界

